

公開が
待ち遠しい!



オーストリア出身のアーティスト、レナ・クニリが地元住民のシルエットをモデルに手掛けた「輪郭」、苔むす道に種山頭火の句を描いた「詩を歩く」などの作品が。

五斗長 ウォーキングミュージアム

ごっさウォーキングミュージアム

淡路市五斗長で、国内最大級の弥生時代後期の鉄器製造群落遺跡が発見されたのは、2001年のこと。その里山で、森の中にアート作品を展示し、歩いて巡る体感ミュージアムがつくられて話題に。現代アートが自然と溶け合い、歩く度に発見がある。現在はウォーキングツアーやイベント時のみ公開中。今後の公開方法は、下記ホームページで告知。

▷淡路市黒谷 ☎090-5066-4604(NPO法人淡路島アートセンター。午前9時～午後6時。木曜日、12/29～1/6休) 入場料未定 ※イベント時などのみ特別公開。公開予定は随時<http://awajishima-art-center.jp/>にて告知 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、北淡IC下車。タクシーに乗り換え約10分 車→神戸淡路鳴門自動車道北淡ICから県道123号線～県道462号線を経て南東へ約10分



屋上のバーベキューテラスでは、淡路牛盛り合わせ+野菜取り放題で3,300円(期間限定)。島西海岸のオーシャンビューを眺めながら。校庭の芝生広場、キュートなアルパカのお出迎えなど、楽しみは随所に。

海を見下ろす元小学校をカフェやマルシェ、レストランに改装し、2012年にオープンした「のじまスコラ」。小学校の統廃合が進む淡路島で、元職員室をカフェに、家庭科室は夕日が美しいレストランに、保健室で野菜の選果や加工を…と新しい廃校利用としても話題の施設だ。運営は人材サ―ビス会社のパソナグループ。新規就農希望者の独立就農を支援する「パソナ農援隊」のプロジェクトの一環から、「島でできた野菜の発送・加工・販売までをここで行っています。せっかくならおいしい食事やスイーツでも、島の恵みを味わってもらえる施設に」と「のじまスコラチーム長」の瀬川康弘さん。今後の展開からも目が離せない。



レストラン(写真上)とカフェは、〈世界の料理人1000人〉の奥田政行シェフがプロデュース。写真はアミューズ、前菜2品、パスタ、メイン料理、デザート、飲み物が付く(地産旬彩スコラコース)3,500円から、前菜の淡路島ガーデンサラダ(右)、メインより雪姫ポークのロースト(中)。土・日曜、祝日はランチ営業もあり、パスタランチコース1,890円など(いずれも税別)。



カフェでは島の食材を使ったパスタ、ピザ、ハンバーグなどからメニューが選べ、〈農援隊のサラダバー〉が付くランチ1,250円が好評。日替わりのドルチェセットはコーヒー+紅茶が付き600円(料金はいずれも税別)。



2014年、
気になる町へ。

新店が次々オープンしたり、人のパワーが集まっていたり…。新年最初のお出かけは、古くからの歴史と、新しい人や動きがうまくマッチして、いま特に、進化が気になる兵庫の町へ。新しい発見を求めて訪ねよう。

撮影/青木 崇 沖本 明
取材・文/伊藤順子 増田 恵 牧野しのぶ

淡路市 島の魅力を発信。 元小学校から

のじまスコラ

3階建ての旧校舎をフル活用した館内。オール淡路島の商品にこだわった「のじまマルシェ」、島の卵や牛乳を使った無添加パン[のじまベーカリー]、野菜はもちろん地元海産物や淡路牛も登場する[カフェ・スコラ]。絶景の夕日を眺める[レストラン・スコラ]が。バーベキューテラス、料理教室、アニメキャラクターショップも楽しい!

▷淡路市野島藁浦843
☎0799-82-1820

[カフェ]午前10時30分～午後7時(ランチ午前11時30分～午後2時) [レストラン]午後6時～午後8時(土・日曜、祝日は午前11時30分～午後2時も営業。いずれもラストオーダー) [マルシェ・ベーカリー]午前10時30分～午後7時 水曜日(12/31・1/1休。1/2はマルシェ・カフェのみ午後1時から営業) @50台 道案内/電車→JR神戸線舞子駅から高速バス、淡路IC下車。徒歩で岩屋ポートへ。無料シャトルバスに乗り約15分 車→神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから県道31号線を経て約15分

「1・2・3次産業を組み合わせた(6次産業)の施設です」と笑顔で迎える[パソナグループ]の森口舞さん(右)、瀬川康弘さん。



中国大返し御膳1,575円から。写真の豊臣2,100円は前菜盛り合わせ、自家製吟醸粕漬け、自家製ごし豆腐、鯛のかぶと煮、麦めしとろろ、酒蔵鍋など。



官兵衛メニューが目白押し。

灘菊酒造 | なだぎくしゅぞう

創業100年の老舗酒蔵は、官兵衛に仕えた武将「黒田24騎」の1人、栗山善助生誕の地とされる。酒蔵の食事処では、秀吉の天下統一のきっかけとなった史実にちなんだ「中国大返し御膳」を考案。麦めしとろろや自家製豆腐など、戦国時代の播磨や中国地方の特産物を盛り込んだコースメニューが豪華。



▷姫路市手柄1-121 ☎079-285-3111
午前11時30分～午後2時、午後5時～午後9時30分(いずれもラストオーダー)。日曜は午前11時30分～午後2時のみ 火曜休(12/31～1/4休) ©20台 道案内/電車→山陽電車手柄駅から南へ徒歩約3分 車→姫路バス姫路南ランプから北へ約2分



姫路官兵衛辨當1,200円は秀吉の馬標・瓢箪(ひさご)にちなんだひょうたん型の弁当箱が印象的で、大人気。ひめじの官兵衛でござる(写真上)は380円。

マネキダイニング

駅弁にも官兵衛シリーズが登場。姫路駅でおなじみのえきそば店では、姫路や播磨ゆかりの食材を使った弁当でご当地グルメが味わえる。(姫路官兵衛辨當)は穴子飯とちらし寿司のボリューム感のある1箱。(ひめじの官兵衛でござる)はネギみそと梅カツオのおむすびセット。ほかに麦めしとろろ入りの幕の内(1,000円)も。



▷姫路市駅前町188-1 JR姫路駅 新幹線乗降口前 ☎079-282-5240(駅事務所) 午前7時～午後8時 無休 ©なし ※道案内はP4参照

2014年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の舞台として話題の姫路では、官兵衛をテーマにした弁当やカフェ、グッズがあららちらに登場。姫路城で生まれたとされる黒田官兵衛孝高は、豊臣秀吉や徳川家康からも一目置かれた戦国時代の軍師。天下統一のため若き日は播州で闘いや町づくりを注いだ



武將だ。町の歴史家やファンにとつては、現代に蘇ったヒーローとも言える存在。官兵衛を研究する「播磨の黒田武士顕彰会」の神澤輝和さんは、「官兵衛の人物や武將としての生き様を知らなければ知るほど魅力を感じます。多くの人に歴史とともに地元の良さも感じて欲しい」。官兵衛がつなげる、町と人を訪ねて歩こう。

スタッフの梅宮景子さんがデザインした[井上書林]オリジナルの官兵衛キャラクターの葉100円や、ご当地キューピー580円も。コーヒー400円～、モーニングセット400円など。



井上書林 | いのうえしよりん

創業明治28年の歴史ある書店。「黒田官兵衛を描いた小説などを集めるうちに、お客さんにカフェスタイルでゆっくり楽しんでほしいと思って」とオーナーの井上陽介さんが書店の中に開いたのが「くろかんカフェ」。コーヒーやドリンクを楽しみながら、100種以上の官兵衛関連本が読み放題のブックカフェだ。思わず戦国時代へトリップ!



▷姫路市大野町53 ☎079-225-1141
午前9時～午後7時 日曜、祝日休(12/29～1/5休) ©6台 道案内/電車→姫路駅から神姫バス、慶雲寺前下車徒歩約3分 車→姫路バス姫路南ランプから姫路城方面へ。国道2号線姫路市民会館前交差点から県道518号線を北へ。ランプから約15分



やっさ弁当本店

やっさべんとうほんてん

姫路や播磨の食材を使った弁当やハンバーガーが、手づくりの優しい味。官兵衛の愛妻家ぶりを表現した(肉めし弁当)や(かんべいくんバーガー)のほか、前どれ穴子の(やっさ弁当)なども。本店の食事処[郷土食楽館]や、本町商店街の[武將カフェニッ丸]でイートインもOK。地元をPRする(姫路・国盗り馳走隊)のメンバーがおもてなし!

▷姫路市本町68 ☎0120-075-903
午前11時～午後7時 火曜休(年末年始休は要確認) ©なし ※道案内はP4参照



神澤さん(右)は資料館[播州・黒田武士の館]館主でもある。官兵衛の家臣・母里(ぼり)太兵衛など妻鹿地区ゆかりの人物の展示が。

▷姫路市飾磨区妻鹿東海町107 ☎079-245-4685
見学は要予約(無料)

地元産食材をぜいたくに。

(黒田官兵衛愛妻物語 肉めし弁当)1,500円は、播磨産の米に官兵衛の妻の出身地・志方をイメージしたすぎ焼き風の但馬牛をたっぷり3枚。(かんべいくんバーガー)500円は但馬牛の甘辛い焼き肉タレ風味ときんぴらが絶妙。



大河ドラマで盛り上がる!

姫路



身近にアートな楽しみを。
商店街活性化のため「おみぞ筋トリックアートストリート」を企画したのは、商店街理事長の奥さま・養烟久恵さん。現在約40点のたまし絵が展示され、内容も数もバージョンアップ中。

宝さがし気分、全部見つけたい!
思わず足が止まる通り上の滝と橋の絵、店舗2階の壁に描かれた宝船、電柱には手乗り姫路城、空き缶に捨てた自転車の置きを警告する怪獣などをあちらこちらに発見。日によって展示場所や内容も変わるので、宝探し気分楽しんで。

おみぞ筋トリックアートストリート

JR姫路駅から南北に連なる商店街の、一番東側が「おみぞ筋」(写真は早朝の風景)。道幅は狭いが、「限られた空間ならではの企画を」と親子連れなど幅広い世代が気軽に楽しめるトリックアートストリートを発案。訪れる人が壁や床、天井、シャッターなどにあるたまし絵を見つけて自由に歩けるのがユニークだ。一緒に写真を撮ると、絵が飛び出してくるようで一層リアルに。口コミで話題が広がっている。



リコッタパンケーキ1,200円はハニーコーンとメープルシロップ、フルーツ添え。ヨーグルトベースのサンライズ600円。



モーニングテーブル

白を基調にしたスタイリッシュな内装が、モーニング利用も気持ちいい爽やかさ。奥には薪ストーブがある落ち着いたソファ席、通り沿いにはテラス席もあるぜひたいく空間。人気メニューは「姫路ーおいしい朝食」をコンセプトにしたオリジナルのパンケーキ。夜はタバとワインでカジュアルディナーも。

▷姫路市呉服町48 ハトヤ第一ビル1F
☎079-240-8283
午前9時～午後9時(金・土曜、祝日は午後10時まで。12/31は午後5時まで) 火曜休(1/1・2休) ⑨なし

現在リニューアル中のJR姫路駅周辺と姫路城。その間を結ぶ商店街では、話題のお店や仕掛けが盛りだくさん。「商店街に何度も足を運びたいくなるような魅力をつくって、訪れる人も町も元気になるってほしい」と「おみぞ筋商店街」で店舗を営む養烟久恵さんは、通りの壁や電柱、天井を生かしてたまし絵を展示中だ。お城への道にはゆつくり過ごしたいカフェも登場し、新しい装いを探して町を歩くのが楽しみに。



コムヒー

北歐風の店内に、ゆったりしたソファ席と回転式イスが並ぶカウンター。こじんまりした空間が心地よい。コーヒー会社に勤めていた店主の小紫順一さんが「自分がおいしいと思うコーヒー」とカフェをオープン。奥さまの美奈さんの出身地・鹿児島徳島の手作り郷土料理や、スイーツでのくつろいだもてなしがうれしい。

▷姫路市本町68 本町商店街内
☎079-222-2677
午前8時～午後7時(モーニングは午前11時30分まで。ランチは午前11時30分～午後3時) 水曜休(12/30・31休) ⑨なし



徳島の郷土料理、鶏飯800円は兵庫産産米に鶏ササミ、徳島の産のたくあん、シタケの旨煮、錦糸卵のせ、だしをかけていただく。サイフォンで入れたコーヒー400円はレトロなファイヤーカーキンのカップで。



お城 NEWS



2015年春完成予定で大天守の屋根修理、漆喰の塗り替えが進む[姫路城]。天守修理見学施設[天空の白鷺]の公開は、2014年1月15日(水)まで(12/29・30休)。1月12日(日)からは[大河ドラマ館]が家老屋敷跡公園にオープンする。また、JR姫路駅には姫路城を眺められる[眺望デッキ]ができ、美しい景色が好評!



寺子屋 | てらこや

築明治20年の町家を改装して2012年にオープンし、竹田城跡見学前後の憩いの場としてすっかり浸透。元の建物やインテリアを生かし、古き良き町の面影を再現する。靴を脱いでほっこりと。玄関先の土間では、和雑貨の展示や販売も楽しみ。



▶ 朝来市和田山町竹田286
☎079-674-1255
午前10時～午後4時30分(ラストオーダー)
→ 不定休(12/29～1/10休) ◎5台

郷愁を誘われるJR竹田駅すぐのカフェ。人気のランチ1,000円～は1日20～25食限定。ケーキセットは630円。テラスは小型犬もOK。別棟に1日2組の宿も。

そして、城下町へ!!

ばかりだ。それに合わせて、城下町の発展も目覚ましい。レトロなJR竹田駅を中心に、古い町家が建ち並ぶ落ち着いた町並みはそのままだ。古い建物を利用した新しいカフェや宿が誕生し、登城後の癒やしの時間を約束してくれている。冬季は車両ルートが閉鎖され、十分注意しての徒歩での登城となるが、雪景色の山城も一興。ずっと守り続けたい景色に出合いにいこう。

秋から初冬にかけて見られる雲海の絶景、日本のマチュピチュとも呼ばれる神秘的な城郭が心をひきつけてやまない「竹田城跡」。その魅力を永く、多くの人で愛せるように2013年からは観覧料が設けられたが、人気は高まる



竹田城は標高353.7mにある山城。南北400m、東西100mと、完存する石垣遺構としては全国屈指のスケールを誇る。登頂には、JR竹田駅や山麓、中腹駐車場からの数ルートがあり、30分から1時間のハイキングが楽しめる。見どころは安土城と同じ積み方という石垣や、天守台から眺める南千畳(写真下)の見事な眺め。



竹田城跡 | たけだじょうせき

室町時代、但馬守護・山名宗全が築いた砦が始まり。15～16世紀に現在のような石垣積の城壁に。2006年[日本100名城]に選ばれ人気が高まった。360度見渡す絶景に息を飲む。12月11日～3月19日の冬季は中腹駐車場までが車両通行止めとなり山麓から約40分の徒歩のみ登城可。十分な準備を。

▶ 朝来市和田山町竹田古城山169
☎079-674-2120(情報館[天空の城])
城は24時間観覧可 観覧料/大人300円、中学生以下無料(ただし12/11～3/19は無料)
ガイド料/1回2,000～3,000円(要電話予約) ◎あり

[朝来市竹田への道案内]
電車→JR播但線竹田駅から各所へ 車→播但連絡道和田山ICから国道312号線で南西へ約10分

竹田 城下町。進化する城と、

竹田城下町 旧木村酒造場 EN

ただけじょうかまち きゅうきむらしゅぞうじょうえん

地元で400年の時を刻む[木村酒造場]が、〈緑(えん)〉をテーマに気軽に立ち寄れる複合商業施設に生まれ変わった。宿泊棟や食事処では非日常の時を。神戸をはじめフレンチ界で活躍する石井之悠シェフによるレストラン&カフェでは、但馬の食材を生かした料理が話題。朝どれ野菜や米を扱う[ベジフルガーデン旬菜]、衣食住を豊かに彩る雑貨や食材に出合える[野のはな]などのショップも入る。

▷朝来市和田山町竹田字上町西側363
☎079-674-0501
[チェックイン] 午後3時~午後6時 [アウト] 午前10時(1泊2食付き1人18,950円~) [レストラン] 午前11時~午後2時30分、午後6時~午後9時30分(第1火曜休) [カフェ] 午前11時~午後9時(第1火曜休) [チャレンジショップ] 野のはな/午前11時~午後5時(火~木曜休) ベジフルガーデン旬菜/午前9時~午後5時(火曜休) ©あり



宿泊時のディナーは地野菜の菜園、但馬牛のステーキ、ごぼうのソースなど6品。ランチ利用は1,050円から。宿泊は貴賓の間だった格式高い客室[桜]など4室とも内装が違う。「伝統を守り、次世代へ橋渡しを」と趙泰勇支配人。[野のはな]では花のリース、オーダーの服も。お弁当を広げたりつるげるスペースがあるのもうれしい。歴史や自然、文化など竹田ならではの魅力満載!



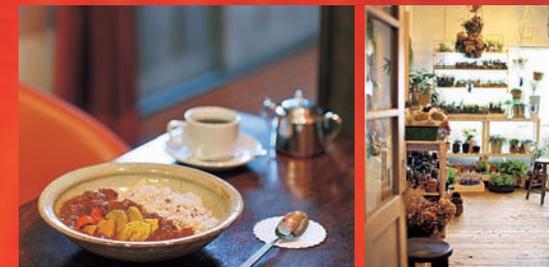
新しい感性を
城下町に訪ねて。

竹田劇場/喫茶キャッスル

ただけきじょう/ぎっさきゃッスル

通称〈タケゲキ〉で知られる文化発信基地。「竹田の町が家具団地として栄えていた昭和40年代のにぎわいを取り戻そう」と地元の建築士・松本さん夫妻と花屋の河邊さん夫妻が共同経営で2012年秋にオープン。1階の昭和な喫茶店で、自家製カレーやケーキセットを味わうもよし、自主映画の上映やバザー、ライブ、ワークショップも見逃せない。2階は北欧雑貨、木工家具、アメリカの古着店など7店が営業中。空間ごと楽しんで。

▷朝来市和田山町栄町19-2
☎079-674-0076
午前10時~午後6時 木曜休(年末年始休は要確認) ©5台



静かな通りに佇む築70年の建物。「初めて目にした瞬間、映画を上映したいとひらめいてこの屋号に」と松本さん(右)。改修はみんなで。喫茶店の看板メニューはトマトベースのチキンカレー700円。オーガニックコーヒー400円。河邊さんの花屋「木まもり」は個性的な切り花やグリーンに定評あり。フラワーアレンジは「お客様のイメージを大切に」と注文後には花を仕入れるため事前予約を。



天井が高く、心落ち着く空間。地元木工所でつくられたという机やイスが懐かしい。大杉ごはん1,050円(午前11時30分～午後2時。予約優先。限定20食)の玄米は、小豆や塩を混ぜて炊き4日間熟成。もちもちして消化がいい。地元の小豆やユズなどを使うおやつはお土産に。「神河町のきれいな空気も持ち帰ってください」と高橋さん(右から2人目)、スタッフのみなさん。



樂や たのしや

元は村役場だった築60年の建物。和洋菓子の店「樂や」を営む高橋陽子さんが、「10周年を機に新たな一歩を」と2013年春にオープン。「神河町産の小豆がご縁でこの町に。大工さんやボランティアの方と改修した空間には、みなさんの温かな気持ちが詰まっています」。食事には卵や牛乳は一切不使用。酵素たっぷりの玄米と地野菜のみそ汁が主役の昔ごはんを味わい、心とむ時間を。

▷ 神崎郡神河町杉440-2
☎0790-32-2322
午前10時～午後5時 水・木曜休(12/30～1/3休。12/16～1/16はランチ休) ◎5台 道案内/電車→新野駅からコミュニティバス、杉大年神社前下車徒歩約1分 車→神崎南ランプから国道312号線を北へ約10分

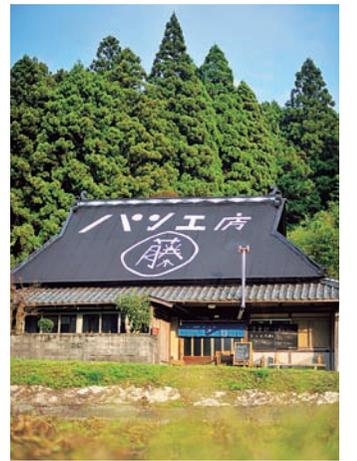


「目的は畑仕事週末を過ごすなど多彩」と真弓さん。空き家バンクは多くの待ちが出る人気ぶり。

神河町

リノベーションで お店が続々。

遠くから目を引く大屋根の文字が目印。のどかな雰囲気が漂う。コーヒーだけの利用も可。



薪窯パン工房 丸藤 | まるぶじ

水田の向こうにぼつんと立つ一軒家。山や川が近い環境にひかれて購入し、2年間で自ら改修。2012年秋にパン工房をオープンした藤田政一さん。8時間薪を燃やし余熱でじっくり焼き上げる食パンは、卵や砂糖、牛乳を使わず、小麦の風味を生かしたもの。広い店内ではトーストにサラダや卵、ドリンクが付くセット(500円)も。



▷ 神崎郡神河町大山197-1
☎090-3842-4643
午前10時～午後4時 火・水・木曜休(12/31～1/9と1/28～2/6休) ◎5台 道案内/電車→寺前駅からコミュニティバス、大山下車徒歩約3分 車→神崎北ランプから国道312号線を南へ約3分

「地元の方と触れ合える場に」と藤田さん。薪で焼く煉瓦窯も手づくり。販売は1日30本焼く食パン1斤半480円、ラスク120円のみ。

美しい山並み、高原、名水など神河町は自然の宝庫。その自然にひかれて暮らしたい人を迎える取り組みを2006年から町が始め、6年間で80軒が成立。地域活性化になると注目される。「各集落の(へ田舎暮らし相談員)や不動産業と協力して空き家バンクを設置



し、仲介役に。多くの改修は大工さんを筆頭に1000人の職人集団と、その指導でボランティアの方にお手伝いを」と地域振興課の真弓憲吾さん。元の風情を生かしつつ生まれ変わった建物で店を始め、人も増え、現在の7店に。人と人との交流の場は、町の新たな財産だ。



【神河町への道案内】
電車→JR播但線寺前駅から各所へ 車→播但連絡道神崎北ランプもしくは神崎南ランプから各所へ



蕎麦処 咲 | そばどころ さき

たつの市在住のご夫妻が週末だけ営む。長年関東に暮らした時代に習得したご主人のそば打ちの腕を生かし、地元兵庫県産を使ってブレンドしたそば粉をつなぎなで打つ十割そばは、なめらかで風味豊か。大きなエビと地野菜の天ぷらセットにするとおなかいっぱい! 里帰りしたようにくつろぐ空間はそばを楽しむのにぴったり。

▷ 神崎郡神河町中村80
☎090-7839-0457
土・日曜の午前11時からのみ営業(売り切れ次第終了) ※予約可 12/30～1/5休 ◎10台 道案内/電車→寺前駅からコミュニティバス、粟賀小学校下車徒歩約5分 車→神崎南ランプから国道312号線を北へ約2分

限定20食のそばと天ぷらのセット1,000円。かけそばも選べる。座敷のほかテーブル席も。

